

令和7年度国有林モニター会議の開催報告

林野庁では、国有林野の管理経営に国民の皆様のご意見・ご提案を役立てるため、「国有林モニター制度」を設けています。

東北森林管理局では、令和6年4月から2年間を任期として管内5県にお住まいの47名の方に国有林モニターにご就任いただき、国有林野事業について理解を深めていただいた上でご意見・ご提案をいただいている。

こうした取組の一環として、令和8年1月14日（水）、東北森林管理局において令和7年度国有林モニター会議を開催しました。

○概要

日時：令和8年1月14日（水） 13時20分～15時30分

場所：東北森林管理局 大会議室

参加者：国有林モニター 22名、東北森林管理局職員 10名

○モニター活動の振り返り

これまでのモニター活動の振り返り、東北森林管理局の情報発信の取組状況等について説明しました。



総務企画部長挨拶



企画調整課長より取組の説明

○意見交換（グループディスカッション）

不得手な情報発信の改善に向け、テーマ「市民に対する国有林の情報発信をどうしていくとよいか」について、グループディスカッションを行いました。また、ディスカッション内容をグループ毎に発表していただきました。

「XやYouTube以外にインスタグラムなど複数のプラットフォームを利用し、ホームページへのアクセス増加につなげる」「森林を象徴するオリジナルマスコットを作り、広報活動を行う」「広報誌を道の駅などの施設に置くか、全戸配布などしてみてはどうか」「イベント情報や紅葉などの森林情報を載せた小さなチラシなどを小中学校へ配るなども情報発信と

していいのではないか」「クマ問題や森林火災などの国民の懸念に対し、国有林がどう関わっているか、情報誌などに特集を組んで取組を発信するなど、マイナスイメージを逆手にとってみてはどうか」など、様々なご意見が出され、活発な意見交換の場となりました。



グループディスカッションの様子



討論結果の発表

○モニター活動を通してのご感想・ご意見

2年間国有林モニターとして活動してこられたご感想や国有林事業に対するご意見を伺いました。

「若い女性などが色々な装備を身に着けて作業している様子を見て、逞しさを感じた」「ただ見ていただけの山に、色々な人が関わっていることをモニター活動を通じて知ることができた」「花粉の少ないスギの植林計画はもっと早く進めて欲しい」「国有林を体験の場として提供すれば、整備をしながら子供達と一緒に山を知れていいのではないか」「地元でもマツ枯れやナラ枯れはひどい。対策が追いつかないとは思うが、頑張って欲しい」「林野庁の仕事として、観光資源を守ることや水源を守ることなど、木だけではなく関連して色々な仕事があるんだなと初めて知った」「資料で色々勉強できた。これからも自分の立場から出来ることをまた学んでいきたいと思う」「木や国有林のことを知らない状態でも様々な意見を交換する貴重な機会を得られて良かった」などのご感想・ご意見をいただきました。

○事前質問への回答

虫害が起こった場合の対応策、森林経営管理法への見解、国有林内の山菜やキノコの採取、クマ対策、木材市況を踏まえた林業経営へのアドバイス、国有林について一般の人に一番知ってもらいたいことは何かなど、事前にいただいていた様々なご質問へ資料にて回答しました。

本会議でいただいたご意見・ご提言等については、今後の国有林野の管理経営及び情報発信に反映させるよう努めてまいります。